

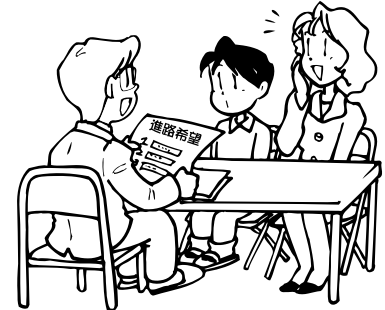


いよいよ三者面談スタートです

今回は3年生向けですが、1, 2年生は来年や再来年のことを考えながら読んでください！(昨年と同じ内容です)

来週からいよいよ第二回目の三者面談が始まります。これは一人一人の進路を具体的に検討していくための面談です。話をするために用意されている時間は短いので、事前の準備が大事です。自分の進路について、家庭でしっかりと話し合いをしてきてください。

教頭先生は教員人生(24年)の半分以上が3年生の担任で進路に関わり、進路の係もしてきました。毎回ですが進路の学習というのは、『実に難しいなあ』と感じてきました。自分の進路を手に入れるためには、それこそさまざまな力を獲得する必要があります。現在は、主に学力であり、英検や漢検などの資格であったりするかもしれません。それらの力を身につけて、自分の進路の可能性を伸ばそうとするわけです。



しかし、君たちがこれから挑む試験は、全員の進路を希望通りにはかなえてくれません。試験というのはそういうものです。だから、今の自分にとって、何が一番良いのかを考えるわけです。たとえ十五歳(十四歳?)であっても君は君の人生を生きています。いろいろな人に支えられて生きています。そして人生には、決断を下さなければならない場面があります。

そんなときは、こんなことを思い出してくれればと思います。それは、

「自分の進路の大事な判断は、自分で出す」

ということです。誤解しないでください。保護者、親戚、近所の人たち、中学校までの先生、本の中の人物、テレビのタレント…君はたくさんの人に見守られ、影響を受けてここまで育ってきています。その人たちのアドバイスは十分に耳を傾けてください。いろいろな人の意見を聞いてください。その上で、「自分の進路の大事な判断は、自分で出す」ということをしてください。

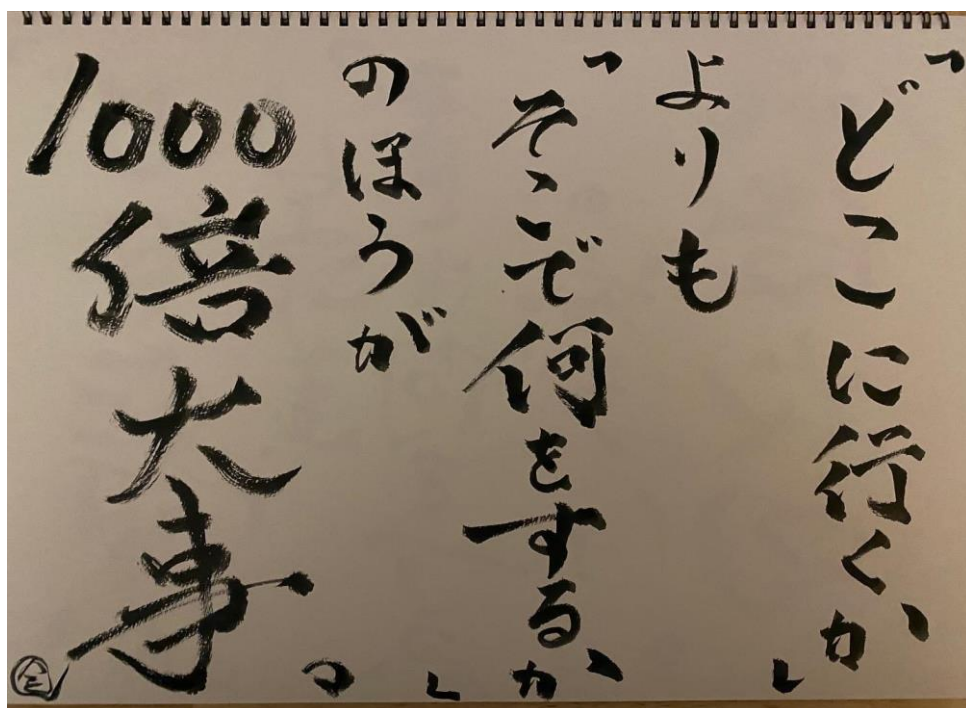
人生の決断を誰かしてもらおうというのもなくはありませんが、私はお勧めしません。というのは、たとえば、進学しても「決めてもらったから」ということが頭にひっかかります。また、残念だったときには「決められたから」となって、相手を憎んだり恨んだりすることもあります。これが自分で決めたのなら、良い結果であれば全面的に喜べるし、悪い結果であれば、その責任を自分で全部背負うことができます。自分の人生を正在している実感があります。

私は君たちの先輩を多く見てきて、中学校を卒業した後大きく成長している先輩たちは、この「良い結果であれば全面的に喜び、悪い結果であれば、その責任を自分で全部背負うこと」ができています。今回の面談では、『自分の理想や希望の進路を手に入れるにはほど遠い』と実感する人も出てくるでしょう。ですが、そのときです。そこから進路の学習が深まっていくのだと思います。

今までの自分をきちんと見直し、これからのことをいろいろな人のアドバイスを受けて、自分で背負っていこうと決意したとき、あなたの進路は矛盾を乗り越えて、新たな可能性に向かって広がっていくのだと思います。

一人一人の三者面談が充実したものとなりますように。。。。。。。。！

がんばってがんばって
がんばってがんばって
がんばってがんばって
やっとな手が届く。
それが第一志望じゃないのか？



どこに行くか
よりも
そ、ぞ何をするか
のほうか
1000倍大事